



〈特集〉

AIがもたらす「負の情報」 2

〈工業会からのお知らせ〉

板金“い・ろ・は”研修会 4

パワーアップ研修会 5

第2回役員会 6

板金図面検定前講習 6

板金“ほ・へ・と”研修会 7
(板金加工概論)

〈トピックス〉

出張セミナーのチラシ 8

〈マイブーム〉

旅 9

〈企業探訪〉

株式会社 Fugen 10

今回の表紙の説明 12

編集後記 12

今後の予定 12



AIに関する技術は、その普及のスピードとともに日々進んでいます。一方では当初から懸念されていた、あるいはあまり想定されていなかったような問題などが散見されるようになりました。その中でも特に昨今目立つようになってきたのが、「ディープフェイク」と「Google AI による概要」です。

「ディープフェイク」とは、AIを使って、人物の映像や音声を合成し、あたかも本人が実際に話しているかのように処理する技術のことです。

元々はエンターテインメントの業界で、映像作品の品質や作業効率の向上のために使われていたものですが、その技術が進むとともに多様なビジネスで活用されるようになった反面、

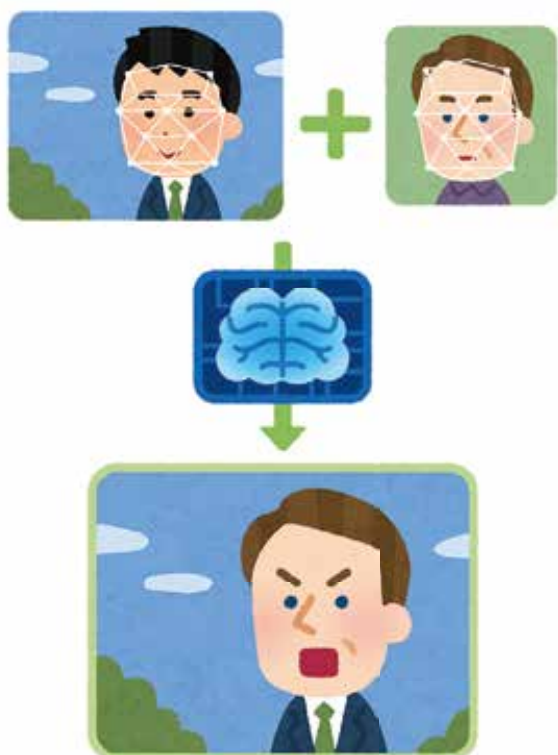


犯罪行為に利用されるケースも増えつつあります。ニュースとして度々取り上げられるものとしては、政治家が不適切な発言をしたり誤情報を発信したりする動画を生成してSNS上で拡散させたものや、ビデオ通話や電話を通じて企業から巨額の金を騙し取るといった事例があります。またYouTube上では、有名人や著名な投資家が投資を呼びかける内容の動画をAI生成した投資詐欺が急増しています。同様の問題は画像生成AIでも起こっていますが、



本人の音声が付いた映像によるこうした悪質な情報は、受け手にとってインパクトがあり、AI 技術に疎い人にはより効果があるコンテンツとなってしまいます。

もう一方の「Google AI による概要」とは、現在 Google の検索エンジンに導入されている機能で、検索結果の一番上に AI が生成した概要を表示するものです。この機能によって、ユーザーは検索結果のページから直接欲しい情報を得られるため、従来のように個別のサイトを見て回る必要がなくなるというものです。Google 検索で調べ物をしている時にこうした機能は一見とても便利で助かるように思えますが、実際には諸手を挙げて活用するというのは現時点では難しいかもしれません。というのも、AI による概要の内容は、ネット上の大量のデータの中から AI が学習したものをもとに作成されますが、多くの生成 AI と同様に、AI の学習の精度の問題から、しばしば誤った内容が含まれてしまうという事例が発生しています。ネット上の情報というのがもともと玉石混交であり、そこから本当に必要な正しい情報を得ることが大変な作業なため、AI の技術でその点をカバーしてもらえることを期待してしまいますが、現段階では既存の情報源と同じく、AI の提供する情報だけを鵜呑みにすることは避けるべきだと言えます。



これらの問題が私たちにどう影響するか、共通して挙げられるのは「情報の汚染」といえるのではないのでしょうか。インターネットの普及により、高度に情報化されていることが前提となっている現代の社会の中では、私たちは日々ビジネスや生活の様々な場面で、ネット上の情報に触れたりそれらを利用したりしています。そのような社会で、ネット上の情報の信用性が著しく落ちるような状況は、多くの人にとって不利益を生じることが容易に想像できると思います。

どれだけ有用な技術もあくまで単なる「道具」に過ぎない以上は、やはり使う人間次第でいかようにも悪い結果をもたらすということは、改めて肝に銘じなければならないでしょう。

〈(株)稲富プレス工業所 稲富 隆大〉



≡ 板金 い・ろ・は、研修会のメイン研修を実施致しました ≡

令和7年5月12日（月）と13日（火）の2日間で、板金 い・ろ・は、研修会のメイン研修を7社15名で実施致しました。

新社会人を対象とした当研修会は、社会人としての心構えや、コミュニケーションの大切さ、会社と学校の違い、人に伝える事の難しさ、名刺交換のやり方、板金業界の位置づけなど、多岐にわたるテーマが盛り込まれています。

最初に受講者が一人ずつ自己紹介をして、他の受講者や先生からの質問に答える事から始まり、社会人としての心構えと職務行動の説明を受けて、現在の日常行動の自己評価（雑用を率先して行っているか？同じ間違いを繰り返していないか？仕事の優先順位を付けられずにパニックになっていないか？等）を行い、それについてグループ討議を実施しました。その後、身につけるべきマナーを学び、自己改善目標を宿題として課され、1日目の研修が終わりました。

2日目は、宿題の発表と先生からのアドバイスを受け、板金加工製品や、板金加工工程の概要を、「モノ作りは技術者の意欲と知識経験で結果は変わる」という講習で、職業人（プロ）として、自ら成長する義務と責任があることを、仕事に取り組む基本を知るための「仕事への心構えと姿勢」という講習を受けて、社長への手紙（社会人としての行動変革の決意表明などを記す）を書いて、メイン研修は終わりました。

次回の10月14日のフォロー研修1回目と、令和8年3月3日のフォロー研修2回目の合計4日間で約10ヶ月に渡る研修会となりますが、メイン研修の時と、フォロー2回目の間の、気持ちや仕事に取り組む姿勢の変化などを見守るために、必要な期間だと先生は仰っていました。



研修会の様子

受講者の感想文から抜粋

- 色々なアンケートを受けてみて、自分の性格や考え方で、改善しないといけない点が多かった。
- 仕事中にメモするものを常備していなくて、上司に言われた事をメモしていなかったので、言われた事を忘れないようにメモを取る習慣をつけたい。
- 自己診断のシートで、グループのメンバーがだいたい同じようなグラフになるだろうと思っていたが、一人一人が全く違ったグラフになっていて、相手も同じことを考えていると思い込むべきではないという事が、強く印象に残った。
- 社会人になるということは、どういうことかを学ばせていただきました。特にマナーに関しては、これから必ず必要な内容になっており、社会で働いてきたからこそその意見を聞く事ができて、とても勉強になりました。

パワーアップ研修会のメイン研修を実施致しました

令和7年5月27日(火)と28日(水)の2日間で、パワーアップ研修会のメイン研修を7社15名で実施致しました。

会員企業の管理監督者・中堅社員を対象としている当研修会は、目指すべき「リーダー像と役割」、その役割を果たす為の「知識・能力」を学びます。さらに、生産性向上手法の基礎知識や例題演習、各種事例紹介などを通じて、体験学習しながら受講者に多くの「気づき」を与え、職場課題を抽出し、具体的な行動目標の設定を行います。



グループ討議の様子



恒例のトランプ並べ
準備や手段によって結果が大きく変わる事を学びます

メイン研修の1日目は、リーダーの役割と責任、部下のやる気を高める方法、コミュニケーションの大切さなどを学び、2日目は、段取りの大切さや無駄を無くす手法を学びました。受講者が各々自分の職場に戻り、無駄を見つけて、無駄を無くす方法を考えて実践し、2日間のフォロー研修を経て、成果を出して発表します。

受講者の感想文から抜粋

- 受講して、上司のあり方が、これはやったらダメなど、丁寧に教えてもらえるので安心しております。私が知らなかった「OJT」など聞くだけではわからない事も知れました。
- ひとつひとつの講習が終わるたびに、思ったことや感想を書く時間があり、振り返りができた。自分が知らない事が多すぎて、勉強になった。
- 具体例を交えた講義で分かりやすく勉強になりました。
- 一番インパクトが有った事は、「ムダ取り事例研究 VTR」でした。普段ビデオをまわして観察するという事をしないので、この方法が改善の第一歩になる事が驚きでした。繰り返し観る事で色々な要因を探ることができるので、会社でもやってみたいと思います。
- 自分一人で改善をする方法を考えるのではなく、周りの人を巻き込んで考えて、互いに成長していく事が大切だと再認識しました。
- トランプを用いた改善の流れの演習はわかりやすく、面白かったです。
- 皆さん立場や経験年数などによって様々な意見を聞けて良い刺激になりました。それぞれ自分の仕事にプライドを持っていて、負けてられないなと思いました。
- 同じ作業でも条件(やり方)が違うと、全く違う結果となる事が改めて分かった。作業指示する際も「〇〇と同じやり方」など、具体的にすることで作業者は無駄に悩む事をせずに作業を行えると思った。



令和7年度 第2回役員会 実施報告

令和7年7月2日（水）、TKP 博多駅筑紫口ビジネスセンターにて、第2回役員会を開催いたしました。会議では、各部会より活動状況の報告と今後の方針について共有がなされました。

冒頭の会長挨拶では、広島シートメタル工業会の40周年記念行事への参加報告がありました。総会・記念講演・祝賀会を含む盛大な行事であり、今後九州でも予定されている記念行事の参考となる貴重な機会であったとのこと。また、工業会西部地区交流会の復活についても話題となり、翌春からの再開を目指す方向で意見が交わされました。

総務部会からは、令和7年度定期総会の収支報告と来年度賀詞交歓会の予算案、定期総会会場の代替案などが報告されました。

経営部会からは、愛知県のテルミック株式会社を視察先とする工場見学の詳細が紹介され、11月19日（水）～20日（木）での実施が決定しました。

生産部会からは、セミナーの開催状況と今後の見直し方針について報告がありました。「板金加工概論」は好評を博し、今後も実務に直結する内容の講座を積極的に検討していくとのこと。

企画推進委員会からは、出張セミナー（長崎・宮崎）の継続実施や、愛媛県内企業への視察・交流の計画が紹介されました。全国工業会との日程調整を図りつつ、円滑な実施を目指して準備が進められています。

今後も各部会が連携し、時勢に応じた企画や活動の充実に努めてまいります。

板金図面検定前講習を実施致しました

令和7年7月16日（水）と17日（木）の2日間で、板金図面検定前講習会を実施致しました。参加者は、現地受講が10社25名、Zoomによるリモート受講が7社26名の合計51名でした。この講習会では、9月13日（土）の試験に向けて、図面に関する基礎知識を交えながら、合格する為のポイントを学びました。

テキストは「板金図面の読み方・書き方」「板金材料読本」「箱物展開」の3冊を使用し、この他にJISハンドブックから試験に出そうな所をピックアップしたものや、実技用の計算問題や展開図用の例題など、たくさんの資料を使いながら、2日間という限られた時間で、たくさんの事を学びました。

休憩時間や講習が終わった後も、先生への質問をする受講者が多くいらっやって、受講された方達の熱心さが伺えました。



皆様熱心に作図をしています

次号（74号）で、試験の合格者と、高得点で合格された方の感想などを記載する予定です。

来年も同じ時期に板金図面検定前講習と試験を実施する予定ですので、皆様奮ってご参加いただきますよう、お願い申し上げます。

板金「ほ・へ・と」研修会(板金加工概論)開催

板金「ほ・へ・と」研修会(板金加工概論)が6月26日(木)、27日(金)の2日間、8社22名にて開催されました。昨年までとは内容を変えて、板金加工の基礎知識と主要な加工方法を習得することを目的としています。受講対象は新入社員や他業種から転職された中途社員となります。内容は下記資料の通りです(要約)。2日間とも時間は9:00～17:00。



1日目

◆ 板金加工とは	板金加工の流れ等
◆ 板金で使われる材料	材料記号、大きさ、管理
◆ 展開工程について	読図、展開・NCプログラムについて
◆ シャーリング加工	ビデオ鑑賞、圧力計算法、作業のポイント
◆ パンチング加工	ビデオ鑑賞、加工の原理、作業のポイント
◆ レーザー加工	ビデオ鑑賞、加工に関する知識、作業のポイント、注意点
◆ 曲げ加工	ビデオ鑑賞、加工に関する知識、作業のポイント、注意点

2日目

◆ DVD 鑑賞	精密板金加工「基礎編、約27分
◆ タップ加工	タップ加工について
◆ 溶接加工	ビデオ鑑賞、溶接法の分類、各種溶接法について
◆ その他の加工機械	
◆ バリ取り・仕上げ方法	
◆ 検査・測定・工具類	
◆ 板金3大材料について	
◆ 質疑応答	

自社で教えるには他部署の上司との時間調整が必要だったりして、教えるのがなかなか難しく、ないがしろになりがちな部分、基礎・根幹を補足するという意味では非常に良い研修だと思われます。

受講者アンケート抜粋

- 幅広く学べてよかった
- 組立や工具についても知りたかった
- 自工程以外に興味を持つことができてよかった
- 他部署のことを全く知らなかったなので、知れてよかった
- うろ覚えなことも再認識できてよかった
- 後工程のことを考えて仕事をしないといけないと気付いた
- 最後に確認テストがあったおかげで、自分の理解度が確認できた



好評につき、地方開催セミナーへの導入が決まりました。お勧めの研修です。次年度以降もたくさんの方が受講されることを願います。

〈(株)ナダヨシ 植木 剛彦〉

板金加工 概論

今回、九州シートメタル工業会では、板金加工の基礎を学ぶセミナー「板金加工概論」を開催することとなりました。

新入社員や異業種からの転職者、板金加工の基礎から学びたい方を対象に、板金加工の基本知識や主要な加工方法を丁寧に解説します。

日々の実務に役立つ内容を、理論的な視点から学べる貴重な機会ですので、ぜひ従業員の皆さまの教育の一環としてご活用ください。



宮崎会場

2025年 **10/23** 木・**24** 金
9:00~17:00

会場

INOBECH協同組合
組合会館2階 会議室

〒882-0024
宮崎県延岡市大武町39-1
TEL:0982-35-6366

申込締切

2025年 **9月30日** (火)

長崎会場

2025年 **11/25** 火・**26** 水
9:00~17:00

会場

長崎県勤労福祉会館
大会議室A

〒850-0031
長崎県長崎市桜町9-6
TEL:095-821-1456

申込締切

2025年 **10月31日** (金)

対象者

九州シートメタル工業会会員・一般企業の方

参加費

会 員 29,000円(税込) /人
非会員 31,000円(税込) /人

ご持参いただくもの

筆記用具

主催/お問い合わせ先

九州シートメタル工業会 事務局(株)アマダ 九州営業所内)
荒木・西岡 TEL:092-580-8575



～旅～



Let's go!

平山プレス工業所の平山と申します。よろしくお願い致します。

「マイブーム」ですが、皆様に聞いて頂ける程の趣味が無く。しかし「何か無いか」と旅日記を見返しました所、話のネタが見つかりましたので、ここに書かせて頂く次第です。

私はかつて長い旅をしていました。国から国をめぐるアテの無い旅です。

まだ若かった私には、お金が殆ど無い代わりに時間が十分にありました。その旅の間に、元借金取りのダイバー、作家、薬物中毒の方、頭取など、色々な方々にお目にかかりましたが、今日はその中の1人についての話をさせて下さい。

彼に会ったのは南米のパラグアイ。旅人が集まる安宿で、第一印象は胡散臭いやツ。

年下の、ドレッドヘアーのギター弾きで、こ汚い私以上に小汚く、名前を伊織と名乗りました。(※1)

※1 名乗り

私は平山と名乗ったが、伊織は私を「ヨシオさん」と呼んだ。小島よしおに似てるからとは彼の弁。(認めない)

辺境の長期旅行者にはよくある事です、治安、フトコロ事情の面から、向かう先が同じであれば、つかの間共に旅をします。結論から言えば、私と伊織は約1か月、ともにパラグアイ→アルゼンチンを縦断し、最後は熱い抱擁を交わし別れました。

しれっと語学が堪能で、料理上手(※2)な彼が大きな助けとなった事もありますが、話してみればいいヤツで、つかの間旅路を共にできたのはウマが合った事が大きいです。

※2 料理上手

伊織は私以上に金がなかった。しかし彼は料理上手であり、食材調達が私、料理は彼という分担になった。彼の作る飯は懐かしい和食だった。

彼との一か月は困難も含め、様々な出来事がありましたが良い思い出です。今思えば胡散臭かった彼が、それまでただ真面目なだけだった私を少しだけほぐしてくれたのかもしれません。

旅の面白さの一つは人との出会いです。人って分らない事だらけなのですが、分かる / 分からない、の両方の部分があるって事は分かります。

その分からない部分を、例えば夏がダメだったりセロリが好きだったり日に何回も神様に祈ったり素手でご飯食べたリトイレトペーパーじゃなくて手で拭いたり色んな事を「そーゆー事もあるよね」と、受け入れるのが多様性って事なのかも、と私は思えるようになりました。あくまで、「かも」ですけれど。

旅の出会いは気づきをくれます。気軽に旅には出られないかもしれませんが、ちょっとした旅、皆様いかがでしょうか？



〈(株)平山プレス工業所 平山 洋介〉

第64回



企業探訪

株式会社 Fugen

会社概要

社名	株式会社 Fugen
代表者	代表取締役社長 白水 善丈
所在地	福岡県糟屋郡須恵町大字上須恵1432
URL	https://2435.co.jp/
TEL	092-932-4181
FAX	092-932-5860

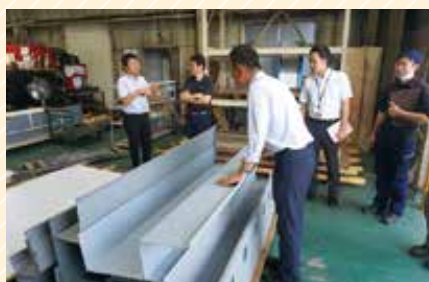
九州シートメタル工業会の会員各社を訪問し紹介させて頂くシリーズ。

福岡県須恵町に本社を構える、(株) Fugen 様 (以下 Fugen) を訪問し、企画推進委員会のメンバーでもある白水善丈社長、そして中地義文営業部長にお話を伺いました。

創業からの歴史、気風

Fugen (旧: 日新産工株式会社※1) の設立は昭和 41 年。福岡市花野町 (現在の博多区博多駅南あたり) に工場を構え、鋼材の切曲げ加工を開始しました。

(※1 日新産工: 23 年前、日新産工の社長 (現会長) に、隣接する平山プレス工業所 (書き手) の企業探訪を執筆して頂きました。今回はその反対、平山プレスによる Fugen の企業探訪です。)



工程説明

そして、昭和 53 年に現在の福岡県糟屋郡須恵町にある新原工業団地に工場を移転し、今に至ります。数十年来お付き合い頂いているお客様、比較のお付き合いの年月は浅いものの理解が深く懐の広いお客様、厳しい納期にも快くご対応いただける協力企業に見守られ、そして献身的な社員にも恵まれ、来年で創立 60 周年を迎えます。

7 代目の白水社長に至るまで、歴代の社長は社員に対して「ああしろ、こうしろ」と細かく言うタイプではなく、それが幸いしたのか Fugen の営業スタイルは各担当者が能動的に営業活動を展開し、紹介や飛び込みで新規顧客を獲得～受注～バラシ～納品まで責任を持って行います。一人一人に与えられた裁量が大きい為、客先からの相談でも個人が判断でき、スピードも速く、お客様の評判も良いそうです。このスタイルが合う / 合わないは人によって様々という事でしたが、「思いっきりやってくれ。ケツは持つ。」とは白水社長から社員への言葉。実際、白水社長自らが客先に出向き、談笑してコミュニケーションを図る事もあれば、お詫びに行く例もお見掛けし、言行一致である事は間違いありません。

Fugen (社名) の由来、ロゴの意味

Fugen が今の名前になったのは 2020 年の事。由来は仏像好きの現会長からヒントを得た普賢菩薩 (ふげんぼさつ) から。また、会社ロゴの頭文字の F をかたどった三本の矢印は、「切る・曲げる・繋げる」という Fugen の核である基本技術の三要素を表します。さらに矢印は文字通り弓矢の矢の事



曲げ金型談義

で、創業家の先祖が古来より代々弓の名手（往時の天皇に弓を教えた方もいるとの事）が多く、それにあやかりたいという思いから様式化されています。

今後の方針、社員に対しての思い

工場内を拝見させて頂くと、建築系の金物が主力で、所狭しと並べられた出荷待ちの製品群。

例年であれば閑散期にあたる夏場にも関わらず、工場内は人も設備も忙しそうに稼働している様に見えましたが、白水社長に言わせれば「これからは違う業種の金属製品製造にも積極的に取り組んでいきたい。」との事。その意図は、「現在、売上の6～7割が建築向けで、お仕事を頂けるのは非常に有難いのですが、当社規模ではとてもコントロールできない建築業界の好不況の波に非常に大きな影響を受けます。



人も設備も忙しい



赤黒カラー以前のベンダー。使い勝手が良い

そこで、今現在、苦勞しながらでも他業界向けの仕事を頂ける様、取り組んでいる所です。」という事でした。だからという訳では無いそうですが、かつて加工精度を問われるステンレスサッシ曲げに果敢に取り組み、曲げ専門の加工会社として名を馳せた時のように、切曲げから溶接まで基礎的な板金加工全般を手掛ける会社として技術的な復権ができるよう、基本に立ち返り、日々加工技術を磨いておられるとの事です。

インタビューの間、何回も言われたのが「ウチは（人）に絶対の自信がある」というお話。

白水社長が、これまで Fugen とは畑違いの様々な会社を経験（※2）され、今の会社に入れた時は、業界も業務の右も左も全く分からなかったそうです。

（※2 畑違いの様々な経験：非常にユニークなお話でした。紙面の関係上書ききれない為、今回は割愛させていただきます。ご了承済み。）

しかし、「根っこが優しい」（←白水社長の言葉そのまま）社員の皆様に助けられ、業務内容を身につける事が出来たそう。「これまでとは違う業種の仕事にも取り組んでいこう！」という社長の思いも社員の皆さんには共有できているそうで、今後は更なる成長が期待されます。

最後になりますが、お忙しい中ご対応頂きました白水社長、中地営業部長、貴重なお話を誠に有難うございました。



〈(株) 平山プレス工業所 平山 洋介〉

中央左が白水社長 中央が中地営業部長

今回の表紙



小倉城竹あかり(北九州市小倉北区城内)

北九州市の秋の風物詩「小倉城竹あかり」は、約3万個の竹灯籠が小倉城周辺を幻想的に彩るイベントです。

私自身も家族と訪れたことがあり、その荘厳な雰囲気思わず息をのみ、家族全員が感動しました。

地元産の高級食材「合馬たけのこ」で知られるこの地では、放置竹林の問題も抱えており、その対策として2019年にこのイベントが始まりました。

市民ボランティアが支えるこの取り組みは、夜景とともに北九州の魅力为全国に発信する循環型社会のモデルにもなっています。

〈三和金属(株) 大和 俊太郎〉

編集後記

久々の編集長を務めさせていただきました。その中で、周囲の環境が大きく変化したことを感じつつ、自身は何か変わったのか、成長したのかを改めて考え、色々と反省している次第です。先日とあるお寺を参拝する機会があり、そこで自分が今年前厄だったのを初めて知ったことで特にそう感じました。もうすっかり夏ですが、職場での一番の話題と言えば熱中症になってしまったことのような気がします。今年は例年に比べてもかなり厳しい暑さだという話もありますが、工場内でとれる対策はそれほど多くないこともあり、とにかく何か異常を感じたら作業を中断するように注意しています。ベストな環境を用意できない以上、その都度対処するほかないですが、何とかこの夏を乗り切っていきたいです。

〈(株)稲富プレス工業所 稲富 隆大〉



九州シートメタル工業会 今後の予定

日程	予定	開催場所	日程	予定	開催場所
2025/10/3(金)	女性のための研修会	アマダ九州営業所	2025/12/4(木)	プレス金型取付調整特別教育	アマダ九州営業所
2025/10/7(火)~8(水)	AP100初級研修会	アマダ九州営業所	2026/1/下旬~2/月上旬(未定)	技能検定試験(実技)	アマダ九州営業所
2025/10/14(火)	板金、いろは。研修会 フォロー研修1日目	アマダ九州営業所	2026/1/下旬~2/月上旬(未定)	技能検定試験(学科)	協会指定の会場
2025/10/16(木)	パワーアップ研修会 フォロー研修2日目	アマダ九州営業所	2026/1/28(水)~29(木)	ステンレス鋼のTIG溶接技能クリニック	ポリテクセンター福岡
2025/10/23(木)~24(金)	宮崎県出張セミナー「板金加工概論」	INOBECH協同組合会館2階	2026/2/5(木)~6(金)	プレスブレーキ(初級)研修会	アマダ九州営業所
2025/11/19(水)~20(木)	工場視察研修(愛知県 株式会社テルミック様)	アマダ九州営業所	2026/3/3(火)	板金、いろは。研修会 フォロー研修2日目	ポリテクセンター福岡
2025/11/25(火)~26(水)	長崎県出張セミナー「板金加工概論」	長崎県勤労福祉会館(予定)			

九州シートメタル工業会 ホームページ

<http://www.kyushu-sma.gr.jp>

ホームページアドレス・メールアドレスを変更された会員の方は、事務局までご連絡ください。



九州シートメタル工業会 会報

SHEET METAL 九州

No.73〈2025 秋号〉

発行日 令和7年9月25日
発行 九州シートメタル工業会
事務局 株式会社アマダ 九州営業所
〒816-0912
福岡県大野城市御笠川1-9-4
TEL 092-580-8570